

埼玉県内におけるミヤマツヤセイボウ *Philoctetes monticola* (Tsuneki, 1975) の 初記録と産卵に関する知見

半田宏伸

埼玉県立自然の博物館 〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀨町長瀨 1417-1

キーワード : 埼玉県初記録, セイボウ科, *Philoctetes*, 産卵記録, クワキジラミ

はじめに

ミヤマツヤセイボウ *Philoctetes monticola* (Tsuneki, 1975) は、ハチ目セイボウ科に属するハチ類である。体色は緑色から青緑色の金属光沢を有し、体長は6-8mm程度である。頭部、胸部に点刻があり、胸部盾板の中胸背縦糸溝に沿って大点刻が見られる。本種の属する *Philoctetes* は国内で2種知られるが、中胸背縦糸溝に沿う大点刻の点刻間は平滑であること、腹部末端は丸みを帯び、1対の突起がないことで他種と識別できる (寺山・須田, 2016)。

本種は北海道、本州 (青森, 山形, 福井, 新潟, 神奈川, 岐阜の各県) から記録されている (羽田ほか, 2005 ; 春日, 2016 ; 木野田ほか, 2005 ; 長瀬, 2006, 2016 ; Tsuneki, 1975)。埼玉県内におけるセイボウ科の記録は、南部 (1998) にまとめられているが本種は含まれていない。

セイボウ科に属するハチ類は、他の昆虫への寄生者であることが知られるが、本種は全国的に稀な種で知見は少なく、寄主など生態的に未解明なところが多い。

筆者は今回、埼玉県大里郡寄居町藤田の荒川河川敷にて、県初記録となる本種を採集し、産卵行動を観察したので報告する。

採集記録

2♀, 埼玉県大里郡寄居町藤田 (河川敷) (36° 06'50.6"N, 139° 15'01.6"E, 標高84m), 14. V. 2016., 半田宏伸 採集, 標本番号 SMNH-In25020 (図1), SMNH-In25021.

1♀, 埼玉県大里郡寄居町藤田 (河川敷) (前述と同所), 22. V. 2016., 半田宏伸 採集, 標本番号 SMNH-In25022.

なお、標本はすべて埼玉県立自然の博物館に収蔵されている。

産卵の記録

クワの葉に飛来した本種を観察したところ、葉の裏面に見られたクワキジラミ *Anomoneura mori* Schwarz, 1896 の幼虫に産卵する行動が見られた。より詳しく産卵行動を観察するため、ミヤマツヤセイボウ 1 個体とクワキジラミ幼虫の多数ついた葉を持ち帰り、飼育ケースに入れ観察を行った。ミヤマツヤセイボウはクワキジラミ幼虫を大顎で手繰り寄せ、体を丸めて、産卵管を腹側から伸ばし産卵した (図2)。およそ30分間で合計12個体のクワキジラミ幼虫への産卵行動が観察できた。産卵する部位は様々で、頭部と胸部の間、胸部と腹部の間などに産卵管を刺す様子が見られた。その後、産卵行動行わなくなってしまったので、観察を終了した。

考 察

Philoctetes は、アリマキバチ亜科のハチ類 (以下アリマキバチ類) を寄主とすることが知られている (Kimsey & Bohart, 1991)。今回、アリマキバチ類に対してではなく、クワキジラミに産卵するという、従来の知見と異なる結果が得られた。

Veenendaal (2011) では、*Philoctetes* に近縁で、同様にアリマキバチ類を寄主とする *Pseudomalus* のセイボウ類の寄生様式について考察されており、それによるとアブラムシ類を獲物とするアリマキバチ類が、*Pseudomalus* に産卵されたアブラムシ類を狩り、巣に持ち帰ると、*Pseudomalus* の幼虫が孵化し、巣に蓄えられたアブラムシやアリマキバチ類の幼虫を捕食して成長すると考えられている。

今回の観察では、ミヤマツヤセイボウが産卵したところのみの観察であったため、どのような過程を経て成虫になるのかは明らかになっていない。

クワキジラミを狩るハチ類にはアリマキバチ亜科のオオアゴマエダテバチ *Psenulus anomoneurae* (Yasumatsu, 1938) が知られている (寺山・須田, 2016). そのため, 従来の通りミヤマツヤセイボウがアリマキバチ類を寄主とするのであれば, Veenendaal (2011) で考えられた *Pseudomalus* のように, クワキジラミを介してクワキジラミを狩るアリマキバチ類の巣に入り込み, 蓄えられた餌資源やアリマキバチ類の幼虫を餌にして成長をする可能性が考えられる.

文 献

羽田義任・野坂千津子・田埜 正・黒川秀吉・室田忠男, 2005. 2004年に岐阜県で採集した蜂類. つねきばち, **5**: 33-66.
春日拓実, 2016. 小千谷市でミヤマツヤセイボウを採集. 越佐昆虫同好会報, **114**: 68.
Kimsey, L.S. & Bohart, R.M., 1991. The Chrysidid Wasps of the World. 652 pp, Oxford University Press, New York.

木野田君公・羽田義任・田埜 正, 2005. 北海道札幌市・小樽市・石狩市で採集した蜂類. つねきばち, **5**: 25-31.
長瀬博彦, 2006. ハチ目. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006: 431-436.
長瀬博彦, 2016. 神奈川県昆虫誌 (ハチ目), 補遺-8, **189**: 35-44.
南部敏明, 1998. 埼玉県の膜翅目 (ハチ・アリ類). 埼玉県昆虫誌 III: 9-92.
寺山 守・須田博久, 2016. 日本産有剣ハチ類図鑑. 780pp, 東海大学出版.
Tsuneki, K., 1975. New cuckoo wasps (Hymenoptera, Chrysididae) found in Japan. *Kontyû*, Tokyo, **43** (1): 29-35.
Veenendaal, R.L., 2011. *Pseudomalus triangulifer*, een nieuwe kogelgoudwesp voor de nederlandse fauna (Hymenoptera: Chrysididae). *Nederlands Faunistische Mededelingen*, **35**: 17-20. (in Dutch with English abstract)



図1. ミヤマツヤセイボウ♀
(スケールバーは1mm)



図2. ミヤマツヤセイボウの産卵
(スケールバーは1mm)

The first record of *Philoctetes monticola* (Tsuneki, 1975) in Saitama Prefecture, Japan, and the observation of oviposition

Hironobu HANDA

Saitama Museum of Natural History, Nagatoro 1417-1, Nagatoro, Saitama, 369-1305 JAPAN